

原料価格・単位料金調整額のお知らせ

《 2026年10月検針分 に適用 》

当社は、「原料費調整制度」に基づき、2026年10月検針分 に適用するガス料金の単位料金を算定しました。

今回につきましては、2026年9月検針分 に対し、10.3 円 / m³ の増額 となります。

(基準単位料金に対し、4.71 円 / m³ の増額 となります。)

なお、今回発表された 2026年10月検針分 のガス料金には、「電気・ガス料金負担軽減支援事業」による値引きが含まれております。

● 2026年5月から2026年7月までの原料価格

1トンあたり L N G 平均価格 100,400 円 (参考-基準となる L N G 平均価格 81,080 円)

1トンあたりプロパン平均価格 123,050 円 (参考-基準となるプロパン平均価格 92,210 円)

※ 2026年5月から2026年7月までの貿易統計実績によります。

● 2026年10月検針分 適用単位料金の調整指標となる平均原料価格

◆ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & 100,400 \text{ 円 (トンあたり L N G 平均価格)} \times 0.9166 \\ & + 123,050 \text{ 円 (トンあたりプロパン平均価格)} \times 0.0903 \\ & = 103,140 \text{ 円 (10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

◆ 平均原料価格

1トンあたり 103,140 円 【基準平均原料価格: 82,640 円】

● 原料価格変動額

$$103,140 \text{ 円} - 82,640 \text{ 円} = 20,500 \text{ 円 (100円未満切り捨て)}$$

● 2026年10月検針分 の基準単位料金に対する調整額

$$0.083 \times (20,500 \text{ 円} \div 100) \times (1 + \text{消費税率}) = \frac{18.71 \text{ 円/m}^3}{(\text{小数第3位以下切り捨て})}$$

$$(\text{原料費調整による調整額}) 18.71 \text{ 円/m}^3 - (\text{政府の支援単価}) 14.00 \text{ 円/m}^3 = \underline{\underline{4.71 \text{ 円/m}^3}}$$

※1m³あたり 14.0円 の政府支援を踏まえて値引きされています。

詳細は経済産業省資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援特設サイト」をご覧ください。

<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>

● 2026年9月検針分 の調整額に対する差額

$$\begin{aligned} & (\text{10月検針分 調整額}) 4.71 \text{ 円/m}^3 - (\text{9月検針分 調整額}) -5.59 \text{ 円/m}^3 \\ & = \underline{\underline{10.30 \text{ 円/m}^3}} \end{aligned}$$